

第2回山口県総合芸術文化祭

第62回山口県美術展覧会要項

平成20年10月9日(木)～10月26日(日)

山口県立美術館

1 趣旨

「つくる・みる・ささえる」の創造的調和

制作の創造性を高めること(つくる)のみならず、美術作品を鑑賞すること(みる)や美術文化を支えていくこと(ささえる)もまた優れて創造的な行為であるとの意識を育成できるような、総合的な美術文化の普及と振興をはかります。

(1) 「つくる」(公募部門)

自由な意識や現代社会に根ざした作品を募集し、その優秀なものを展示します。

(2) 「みる」(ワークショップ部門)

鑑賞行為の創造性を体験してもらうためのワークショップを開催します。

(3) 「ささえる」(ボランティア部門)

広く県民から募集した美術館ボランティア・スタッフの県美展運営への参画により、芸術支援の活動を展開してもらいます。

2 会期および会場など

(1) 会 期 平成20年10月9日(木)～10月26日(日)

休館日 10月14日(火)・20日(月)

(2) 会 場 山口県立美術館 〒753-0089 山口市亀山町3-1 tel: 083-925-7788

(3) 開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)

3 観覧料

一般 250(200)円 学生 200(150)円 ※ () 内は20人以上の団体料金

※70歳以上および18歳以下の方、中等教育学校、高等学校、特別支援学校に在学する方等は無料です。

【作品公募部門】(つくる)

4 審査員 (50 音順)

岡部 あおみ (おかべ・あおみ)

1950 年生まれ。武蔵野美術大学教授。美術評論家。2006-7 年ニューヨーク大学客員研究員。阪神淡路大震災後の、ジョルジュ・ルース阪神アートプロジェクト(1995 年)の発起など、芸術と社会を結ぶ企画を実施。現代美術、ジェンダー論、アート・マネジメントなどの著作多数。近著『芸術と性差』(武蔵野美術大学ジェンダーリサーチ共同研究論文集監修)。アートや文化に関するサイト「カルチャーパワー」(<http://apm.musabi.ac.jp/imsc/cp/index.html>) 運営。山口県美展の審査は3回目。

高嶺 格 (たかみね・ただす)

1968 年生まれ。美術作家。パフォーマンスやインスタレーション、映像から工芸的手法まで、機会に合わせた横断的な作風で知られる。ダンスのコラボレーションや演出も手掛けるなど、舞台作品との関わりも深い。主な出展に「京都ビエンナーレ 2003」「第 50 回ヴェネチアビエンナーレ」「クイアザグレブ 2006」「第 5 回メキシコパフォーマンスフェスティバル」など。今年山口情報芸術センターで開催される「大友良英/ENSEMBLES」展(高嶺のパートは 8 月 23 日より 10 月 12 日まで)に参加予定。京都造形芸術大学客員教授。山口県美展の審査は初めて。

南 宏 (みなみしま・ひろし)

1957 年生まれ。女子美術大学教授。カルティエ現代美術財団(パリ)に留学(1993 年)。国際美術評論家連盟理事(本部パリ)を歴任。美術評論家連盟常任委員。プラハ国際現代美術トリエンナーレ 2008(プラハ国立美術館)国際キュレーター。「生人形と松本喜三郎 反近代の逆襲」「アン・ハミルトン[ヴォーチェ]」「熊本国際美術展 ATTITUDE 2007」(全て熊本市現代美術館)など展覧会企画多数。著書に評論集『豚と福音』(七賢出版)がある。山口県美展の審査は2回目。

5 出品について

搬入・展示が可能なものであれば、形式・寸法・重量・材質等は問いません。

出品点数に制限はありません。

6 事前協議

以下の場合には事前に事務局との協議が必要です。事前協議の受付時間内に山口県立美術館にお越し下さい。

- ・ 搬入・展示等に調整が必要な作品(例:組作品、3m 立方相当以上の寸法のもの、500kg 以上の重量のもの、もろい材質のもの、映像作品については機器、電源等)
- ・ 時間の経過に伴う変化・更新を前提とする作品
- ・ 特定の展示場所を希望する作品

(1) 日 時 平成 20 年 8 月 23 日(土) ~ 9 月 21 日(日) 9:00~12:00 13:00~17:00

(2) 受 付 山口県立美術館学芸事務室(休館日は通用口にお越しください。)

(3) 必要なもの 展示プラン(イメージスケッチ程度のものでかまいません。)

※原則として先着順です。

7 出品にあたっての留意点

- (1) 自己の創作した作品であること。
- (2) 著作権、肖像権を侵害しない作品であること。
- (3) 審査を伴う公募展で展示されていない作品であること。
- (4) 事前協議がない場合、作品の搬入受付後に作品に変更を加えることは認められません。
- (5) 作品には、所定の出品票を裏面右上にはりつけて出品して下さい。
- (6) 出品作品は慎重に取り扱いますが、搬入から搬出までの間における事故および不慮の災害等による作品の破損、亡失等については責任を負いかねますのでご了承下さい。

8 出品料

1 点につき 2000 円を出品目録に添えて納入して下さい。受付後の出品料の返却には応じられません。

9 作品の搬入

- (1) 搬入日時 平成20年9月26日(金)～9月28日(日) 9:00～12:00 13:00～16:00
(2) 受付場所 山口県立美術館(山口市役所側通用門から搬入して下さい。)

10 作品の搬出

- (1) 搬出日時 平成20年10月31日(金)～11月2日(日) 9:00～12:00 13:00～16:00
(2) 受付場所 山口県立美術館
※搬出は、作品預り証と引き替えに行います。

11 搬出入の費用

出品者の負担とします。返送ご希望の場合、荷造りおよび輸送経費は着払いとします。

12 審査会

審査は公開します。審査会2日目の審査終了後、傍聴者による審査員への質疑応答等の時間を設けます。なお、傍聴には申込が必要です。ご注意ください。

- (1) 日 時 平成20年9月30日(火) 10:00～17:00
10月1日(水) 9:30～12:00

- (2) 会 場 山口県立美術館

- (3) 申込方法 郵便はがき、ファックス、メールのいずれかでお申込下さい。

記入事項：住所・氏名・電話番号

申込締切：9月28日(日) 当日消印有効

- (4) 申込・お問い合わせ

山口県立美術館 県美展事務局

〒753-0089 山口市亀山町3-1 tel:083-925-7788 fax:083-925-7790

e-mail : a19304@pref.yamaguchi.lg.jp

※記入いただいた個人情報は、第62回山口県美術展覧会審査会傍聴に関する業務以外には使用しません。

13 審査発表

山口県立美術館ホームページ、新聞、テレビ、ラジオ等で発表します。審査結果の通知を希望される出品者には、出品時に記入いただいたはがきにより審査後約1週間程度で審査結果を通知します。

14 賞

- 大 賞 1名(賞状・賞金50万円・次回県美展での展示空間とその展示経費50万円)
優秀賞 5名(賞状・賞金5万円)
佳作賞 (賞状)

15 特別展示

昨年度の大賞受賞者 吉村芳生氏による新作を展示します。



昨年度大賞受賞作品

吉村芳生

「徳地に住んで見えてくるもの(色鉛筆で描く・・・)」(部分)

【ワークショップ部門】(みる)

16 ワークショップ

作品をただ受動的に鑑賞するだけではなく、「みる」こともまた美術における重要な表現方法のひとつであるという意識の育成を目的に設けた部門です。「みる」ことの多様なあり方を、様々なプログラムを通じて体験していただきます。

「自作を語る」

第62回山口県美術展覧会入選者のうち希望者に展示作品について語ってもらいます。詳細・実施日時は、展覧会開始後山口県立美術館ホームページおよび会場入口の掲示でお知らせします。

—つくることから見ることに—

「人間たてばんこ」

大きな段ボールを切り抜いて、等身大の自分をつくろう！

10月12日（日）13：30～15：30

「むぎゅっと、はぎれ。」

いろいろな形のはぎれを並べてみよう。なにができるかな？

10月13日（月・祝）13：30～15：30

- (1) 対 象 こどもからおとなまで(保護者と一緒の参加であれば幼児も可)
- (2) 募集人数 15名程度(当日先着順)
- (3) 会 場 山口県立美術館ロビー
- (4) 講 師 倉科勇三(美術家)
- (5) お問い合わせ

〒753-0089 山口県山口市亀山町3-1 山口県立美術館「県美展ワークショップ」係
tel: 083-925-7788 e-mail: a19304@pref.yamaguchi.lg.jp

【ボランティア部門】(ささえる)

17 ボランティア

美術文化との多様な関わり方を創出していくことを目的に普及活動の新しい形態を模索する場として設けた部門です。美術館ボランティア・スタッフに作品公募やワークショップ開催にともなう県美展のさまざまな仕事に従事してもらっています。

【主催・運営委員会・事務局】

18 主催

山口県・山口県教育委員会

19 第62回山口県美術展覧会運営委員(50音順)

浅野 晃臣 山口県環境生活部 文化振興課長
石崎 泰之 山口県立萩美術館・浦上記念館 学芸課長
臼井裕貴子 NPO 法人こどもステーション山口 事務局長
中野 良寿 山口大学教育学部 准教授
濱本 聡 下関市立美術館 館長補佐
堀家 敬嗣 山口大学教育学部 准教授
水谷由美子 山口県立大学国際文化学部 教授
守田 正史 山口県教育委員会 社会教育・文化財課長
若林 英樹 シンフォニア岩国 企画事業マネージャー

20 県美展事務局

山口県立美術館 〒753-0089 山口市亀山町3-1 tel: 083-925-7788 fax: 083-925-7790
e-mail: a19304@pref.yamaguchi.lg.jp
<http://www.yma-web.jp/>

郵便でお問い合わせの場合は、往復はがきをご使用になるか返信用封筒を同封して下さい。

第62回山口県美術展覧会出品目録

ふりがな 氏名		(〒 -)
生年月日	明・大・昭・平 年 月 日 (才)	住所 (連絡先)
		tel: _____

記号	番号	題名
※	※	ふりがな
A B		
※	※	ふりがな
A B		

返却方法	いづれかを○で囲んで下さい
・会場受領	10/31 (金)
	11/1 (土)
	11/2 (日)
・輸送 (料金着払)	

- ペンカボールペンを使い、楷書で、太枠の中のみ記入して下さい。 ※は記入しないで下さい。
- 審査結果の通知を希望されるかたは、右下の通知はがきの表面に連絡先を記入し、50円切手を貼って下さい。
- 氏名は本名を書き、号は () で記入して下さい。住所は出品者本人の住所を記入して下さい。
- 出品票は、平面作品の場合は裏面右上、それ以外は右下もしくは底部にはがれないように貼って下さい。
- ご記入いただいた個人情報山口県美術展覧会に関する業務以外には使用しません。

受付	9/
出品料	円

※	A	B	※
出品票	題名		
	氏名		
	住所		

※	A	B	※
出品票	題名		
	氏名		
	住所		

作品預り証

作品 _____ 様

_____ 点正に受け付けました。

平成20年9月 _____ 日

山口県立美術館

※取扱 _____

※ A	※ B
※ A	※ B

・作品搬出日時: 10月31日～11月2日の9:00～12:00 13:00～16:00です。

・必ずこの作品預り証をご持参下さい。

・搬出期限を越えても受け取りに来らわれない作品については、出品者に断りなく処分させていただきます。

郵便はがき

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------

審査結果の通知を希望されるかたは50円切手を貼って下さい